

# ARECプラザ 第116回リレー講演会

## 繊維・素材・プラスチック分野

日時：2010年9月16日(木) 15:00~18:00

終了後、交流会 [参加費：無料]

場所：AREC (上田市産学官連携支援施設) 4階

(上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel: 0268-21-4377)

### 講演1

15:00~15:50

#### 演題 『着心地の計測に関する研究』

講師 信州大学大学院 総合工学系研究科 教授 上條 正義 氏

概要 衣服生地の肌触り、衣服による圧迫、衣服内気候がヒトの生理・心理反応にどんな影響を与えるかを計測し、着心地を評価する研究事例について紹介する。

### 講演2

15:50~16:40

#### 演題 『クモ糸遺伝子を用いたスパイダーシルクの開発』

講師 信州大学繊維学部 応用生物学系 教授 中垣 雅雄 氏

概要 スパイダーシルクの繊維としての優位性について注目されているにもかかわらず、クモから大量のスパイダーシルクを回収することは難しい。スパイダーシルクの人工合成法も確立されていない。そこで、蚕にスパイダーシルクを吐かせるために、遺伝子組換え手法を用いてクモ糸遺伝子をカイコのゲノム染色体に導入している。

休憩 10分

### 講演3

16:50~17:25

#### 演題 『オーガニックコットンは日本の繊維産業のニューウェーブ』

講師 株式会社アバンティ 代表取締役社長 渡邊 智恵子 氏

概要 オーガニックコットンの原綿を海外から輸入をし、北は米沢から南は鹿児島まで各産地で糸を作り、生地を作り、製品にし、Made in Japanにこだわったトレーサビリティがしっかりとした物作りをしています。優れた、そして、人にも環境にも配慮した Made in Japan のオーガニックコットンですが、各産地の技術や伝統を生かすことは年々難しくなる日本です。この技術を後世につなげていくにはどうしたら良いのか、大きな課題を皆で考えたい。

### 講演4

17:25~18:00

#### 演題 『ワイシャツのLCA及びその検討結果から開発された新商品のご紹介』

講師 フレックスジャパン株式会社 プロダクションセンター リーダー 北沢 裕二 氏

概要 商品やサービスのライフサイクル過程で排出された温室効果ガスの総量をCO2に換算して表示する「カーボンフットプリント制度」の試行事業がスタートしました。そこで当社の代表的なワイシャツをLCA評価した内容と、得られた結果をもとに「環境負荷低減」をキーワードに開発し2010年夏から発売した新商品についての紹介する。

### お申込先

ARECプラザ宛 メール ([mousikomi@arecplaza.jp](mailto:mousikomi@arecplaza.jp)) またはファックス (0268-21-4382) でお申し込みください。

ARECプラザ 第116回リレー講演会 参加申込書		[2010年9月16日(木)]	
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		

ご記入いただいた個人情報(御社名、所属・役職、氏名)は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません。